



## 平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月30日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4779 URL <http://www.softbrain.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 木下 鉄平 TEL 03 (6880) 9500  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	4,328	9.8	461	5.5	464	6.6	287	△0.8
29年12月期第2四半期	3,943	8.3	437	7.1	435	7.5	290	19.9

（注）包括利益 30年12月期第2四半期 303百万円（1.0%） 29年12月期第2四半期 300百万円（14.1%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	9.82	—
29年12月期第2四半期	9.91	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第2四半期	6,195	4,176	64.2	135.59
29年12月期	5,836	4,084	66.7	132.79

（参考）自己資本 30年12月期第2四半期 3,975百万円 29年12月期 3,892百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	7.00	7.00
30年12月期	—	0.00	—	—	—
30年12月期（予想）	—	—	—	8.00	8.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,900	10.0	1,150	21.1	1,150	20.7	750	17.8	25.58

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期2Q	30,955,000株	29年12月期	30,955,000株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	1,633,100株	29年12月期	1,640,900株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期2Q	29,320,693株	29年12月期2Q	29,307,422株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付制度「株式付与ESOP信託」に係る信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（株式付与ESOP信託口）が所有している当社株式（平成30年12月期2Q：83,100株、平成29年12月期：90,900株、平成29年12月期2Q：96,400株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結業績は、

売上高	4,328百万円(前年同期比 9.8%増)
営業利益	461百万円(前年同期比 5.5%増)
経常利益	464百万円(前年同期比 6.6%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	287百万円(前年同期比 0.8%減)

となりました。

当第2四半期連結累計期間は出版事業が減収となったものの、営業イノベーション事業がそれを補い、増収となりました。利益面におきましては、増収の結果、営業利益、経常利益は増益となりましたが、法人税等の計上により親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

各セグメントの業績については以下の通りです。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来の報告セグメントである「eセールスマネージャー関連事業」を「営業イノベーション事業」に名称を変更しております。

当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

## 1. 営業イノベーション事業

当事業におきましては、営業面では「生産性の向上の仕組みづくり」セミナーを開催するなど新規顧客の開拓を推進いたしました。また開発面では主力製品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャー」の活用支援サイト開設をはじめとした、使い勝手の良さを追求した開発に取り組みました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、主力製品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャー」の販売がクラウド型を中心に堅調に推移いたしました。成長に向けての従業員数増加やオフィス移転等により人件費や諸経費等が増加いたしました。

以上の結果、売上高は2,216百万円(前年同期比9.2%増)、セグメント利益は320百万円(同8.8%減)となりました。

## 2. フィールドマーケティング事業

当事業におきましては、大手消費財メーカーを中心に新規顧客開拓を進めるとともに、POB事業では、8,500万人以上の会員を有する大手共通ポイント運営会社と業務提携を図るなど、会員拡大を推進いたしました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、フィールド活動一括受託などのストックビジネスが引き続き好調に推移していることに加え、店頭構築などのスポット案件についても前年を大幅に上回る受注もあり、売上伸長に寄与いたしました。

以上の結果、売上高は1,806百万円(同16.1%増)、セグメント利益は158百万円(同56.8%増)となりました。

## 3. システム開発事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、一部大型案件の取引規模縮小の影響により減収となりました。一方、費用面では、プロジェクト管理の徹底による収益性改善の見直しを図るなどコスト抑制にも取り組んだ結果、売上高費用比率は改善いたしました。

以上の結果、売上高は200百万円(同13.8%減)、セグメント利益は4百万円(同9.6%増)となりました。

## 4. 出版事業

当第2四半期連結累計期間におきましては、売上面では書籍販売の減少を背景に減収となりました。利益面については引き続きコストの抑制に取り組みましたが、減収により損失幅も拡大となりました。

以上の結果、売上高は105百万円(同16.5%減)、セグメント利益は22百万円の損失(前年同期は18百万円の損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産の状況は、

資産 6,195百万円(前連結会計年度末比 6.2%増)

負債 2,019百万円(前連結会計年度末比 15.3%増)

純資産 4,176百万円(前連結会計年度末比 2.2%増)

となりました。当第2四半期連結会計期間末の財政状態の分析は、以下の通りです。

## &lt;資産&gt;

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ359百万円増加し、6,195百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が432百万円増加したことによるものです。

## &lt;負債&gt;

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ267百万円増加し、2,019百万円となりました。主な要因は、前受金が235百万円増加したことによるものです。

## &lt;純資産&gt;

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ91百万円増加し、4,176百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を287百万円計上したこと、205百万円の剰余金配当を実施したことによるものです。以上の結果、自己資本比率は、64.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、平成30年1月30日に公表いたしました平成30年12月期連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性がある事をご承知おきください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,135,773	3,567,784
受取手形及び売掛金	1,592,257	1,565,619
商品及び製品	52,404	49,204
仕掛品	53,341	37,971
繰延税金資産	45,927	33,995
その他	203,479	167,769
貸倒引当金	△12,606	△16,930
流動資産合計	5,070,578	5,405,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	82,419	84,469
減価償却累計額	△13,301	△27,853
建物及び構築物(純額)	69,117	56,616
工具、器具及び備品	284,930	300,928
減価償却累計額	△216,063	△231,826
工具、器具及び備品(純額)	68,867	69,102
その他	—	769
有形固定資産合計	137,985	126,487
無形固定資産		
ソフトウェア	461,018	502,082
その他	915	915
無形固定資産合計	461,933	502,997
投資その他の資産		
投資有価証券	2,500	2,500
差入保証金	143,726	137,838
長期滞留債権	45,606	44,077
繰延税金資産	16,600	17,399
その他	3,000	3,000
貸倒引当金	△45,606	△44,077
投資その他の資産合計	165,826	160,737
固定資産合計	765,745	790,223
資産合計	5,836,324	6,195,638

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	283,280	292,880
未払金	342,314	415,424
未払役員賞与	28,290	—
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	56,000	56,000
未払法人税等	198,716	157,708
前受金	414,908	650,306
賞与引当金	54,734	28,945
役員賞与引当金	—	14,445
返品調整引当金	12,865	10,024
その他	164,852	225,591
流動負債合計	1,655,962	1,951,326
固定負債		
長期借入金	84,000	58,500
株式給付引当金	7,334	7,270
その他	4,204	2,265
固定負債合計	95,539	68,035
負債合計	1,751,501	2,019,362
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	367,795	367,795
利益剰余金	2,950,680	3,032,827
自己株式	△251,820	△250,822
株主資本合計	3,892,719	3,975,864
非支配株主持分	192,103	200,410
純資産合計	4,084,822	4,176,275
負債純資産合計	5,836,324	6,195,638

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	3,943,100	4,328,512
売上原価	2,446,541	2,797,506
売上総利益	1,496,558	1,531,005
販売費及び一般管理費	1,059,151	1,069,729
営業利益	437,407	461,275
営業外収益		
受取利息	58	66
為替差益	—	435
違約金収入	105	—
保険解約返戻金	181	—
助成金収入	—	2,255
その他	50	1,610
営業外収益合計	395	4,368
営業外費用		
支払利息	683	475
為替差損	1,284	—
リース解約損	—	550
営業外費用合計	1,968	1,025
経常利益	435,834	464,618
特別損失		
固定資産除却損	1,238	—
特別損失合計	1,238	—
税金等調整前四半期純利益	434,596	464,618
法人税、住民税及び事業税	131,272	149,776
法人税等調整額	2,582	11,132
法人税等合計	133,855	160,909
四半期純利益	300,741	303,708
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,311	15,726
親会社株主に帰属する四半期純利益	290,430	287,982



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	300,741	303,708
四半期包括利益	300,741	303,708
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	290,430	287,982
非支配株主に係る四半期包括利益	10,311	15,726

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	434,596	464,618
減価償却費	100,869	135,242
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,528	2,795
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,252	△25,788
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△6,673	△2,841
受取利息及び受取配当金	△58	△66
支払利息	683	475
固定資産除却損	1,238	—
売上債権の増減額(△は増加)	38,702	26,638
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,828	18,569
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,687	9,599
前受金の増減額(△は減少)	152,171	235,397
その他	△181,282	95,519
小計	507,008	960,161
利息及び配当金の受取額	58	66
利息の支払額	△678	△483
法人税等の支払額	△152,130	△171,969
法人税等の還付額	10,762	1,179
営業活動によるキャッシュ・フロー	365,020	788,954
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△25,084	△17,599
無形固定資産の取得による支出	△158,301	△132,829
差入保証金の差入による支出	△3,912	△323
差入保証金の回収による収入	5,377	36,388
投資活動によるキャッシュ・フロー	△181,920	△114,363
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△28,000	△25,500
配当金の支払額	△143,887	△213,444
その他	△704	△1,939
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172,591	△240,884
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,284	△1,695
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,224	432,010
現金及び現金同等物の期首残高	3,177,101	3,135,773
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,186,325	3,567,784

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	営業イノベ ーション事 業	フィールド マーケティ ング事業	システム 開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	2,029,296	1,555,314	232,521	125,968	3,943,100	—	3,943,100
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	13,317	1,645	37,649	—	52,612	△52,612	—
計	2,042,614	1,556,959	270,170	125,968	3,995,713	△52,612	3,943,100
セグメント利益 又は損失(△)	351,322	101,242	4,135	△18,986	437,713	△305	437,407

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△305千円には、固定資産の調整額△98千円、棚卸資産の調整額△207千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	営業イノベ ーション事 業	フィールド マーケティ ング事業	システム 開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	2,216,687	1,806,110	200,519	105,193	4,328,512	—	4,328,512
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	13,165	976	16,789	6,879	37,810	△37,810	—
計	2,229,853	1,807,086	217,309	112,072	4,366,322	△37,810	4,328,512
セグメント利益 又は損失(△)	320,405	158,793	4,533	△22,281	461,450	△175	461,275

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△175千円には、固定資産の調整額9千円、棚卸資産の調整額△184千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

第1四半期連結会計期間より、従来の報告セグメントである「eセールスマネージャー関連事業」を「営業イノベーション事業」に名称を変更しております。

なお、当該セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

また、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称に基づき作成したものを開示しております。